

2024 東海地域 GK 指導者講習会・U14GKトレーニングキャンプ報告書

報告者: 渡井将浩、大橋昭好

1. 目的

日本サッカー, そして, 東海地域の強化・発展のため,

- ① 優秀な選手の発掘・育成
- ② 選手・指導者のレベルアップ
- ③ 選手・指導者の交流
- ④ GP 指導に関する情報発信 を図る

2. 主催

東海サッカー協会

3. 日程、場所

① GK 指導者講習会

2025 年 1 月 18 日(土) スタッフ集合

スタッフ集合 : 9:30

会場 : 三重交通 G スポーツの杜鈴鹿 三重県鈴鹿市御園町1669

② GK キャンプ

2024 年 1 月 19 日(日)選手:グラウンド直接集合

スタッフ集合 : 8:45

選手集合 : 9:30

会場 : 三重交通 G スポーツの杜鈴鹿 三重県鈴鹿市御園町1669

4. 参加資格・人数

① 日本サッカー協会加盟登録選手

(外国籍選手でもその選手の参加が他の選手にプラスと考えられる場合, 参加を承認する。

② U-14: 年齢 2010(平成 22)年 1 月 1 日以降出生の者

③ 東海地域・各県からの参加人数は原則 U-14 で 3 名とする。

5. スケジュール

別紙参照

6. 参加選手・参加指導者

別紙参照

7. まとめ

東海 4 県の各 FA から 3 名 の GK が参加しトレーニングキャンプを開催した。トレーニングのトピックは、静岡 FA と愛知 FA が課題を抽出し、「クロス守備(静岡 FA)」「シュートストッ

プ(愛知 FA)」のトピックに決定し2FA がプランニングを行った。

GK 指導者講習会では、翌日の GK キャンプに向けてトレーニング内容の確認とシミュレーションを行った。各県から3名ずつと、役員として三重県チーフと静岡県チーフ、任意で参加していただいたスタッフ1名、計15名参加した。その中で意見交換を行い、トレーニング内容の再考からGKキャンプを行った。トレーニング内容の確認は事前に1/6(月)夜の東海チーフオンラインmtgの中でも共有を図っていた。

GK キャンプでは、GK のテクニックにフォーカスしたトレーニングからファンクショナルトレーニングの内容で充実したトレーニングを行うことができた。各 FA から2名と各県チーフ、合計10名のスタッフが参加した。

開催県である三重県、近隣の愛知県、岐阜県から、数名の指導者の見学もあった。

8. 参加者へのアンケート結果

・JFA コーチ大橋さんの講義の感想

複数の指導者が同一の試合を分析する場合、分析視点の統一が重要であるとありました。大橋さんの講義で、C-D-E-F や P-M-D-S といった共通の分析フレームワークを用いることで、指導者間の認識のズレを減らし、より客観的な評価が可能になることを改めて学ぶことができました。特に、GP コーチは、個々の GP 選手のパフォーマンス分析に注力しがちですが、チーム全体の戦術や組織との関連性も深く分析する必要があります。これにより、GP がチームに与える影響をより深く理解し、より効果的な指導に繋がると学びました。

サッカーの歴史の復習ができた。知らなかった出来事や歴史的背景を知ることができた。特に印象に残っているのは、「これからの GP 像を考える」という話だった。5年先、10年先を見越して、今のトレーニングを考えていくことは非常に重要になってくると感じた。もっともっと、FP に近づいていき、足下のテクニックはより高いものを求められるだろうと感じた。また、ヨーロッパの技術や考え方を真似をしたり、学び取ったりして、日本の GP はできあがっているが、将来は、日本から発信していくところまで高めたいと感じた。

・シミュレーションと指導案検討、グループ討議を通して

講習会を通じて、最新の GK トレーニング理論と実践的な指導方法について多くの気づきがありました。特に印象的だったのは、「獲得させたいものは何か」というトレーニングの目的に常に立ち返ることの重要性です。

また、講義では現代サッカーにおける GK の役割の変化について理解を深めることができました。ビルドアップの起点としての役割や、高い位置での FP としての役割など、従来の枠にとらわれない多様な能力開発の重要性を改めて学びました。

講習参加の度に他の指導者の方の知見や分析の観点など非常に多くの学びを多く持ち帰ることができ、選手たちの育成につなげていきたいと思えます。

・GK キャンプを通して

基本姿勢やポジションニングの重要性を改めて認識しました。またシュートストップの成功体験を積み重ねること、コーチからのプレー分析を基にした具体的な声かけの必要性、そうした点も大きな学びとなりました。

インスイング、アウトスイング、グラウンダーなど、様々なクロスに対応できる判断力やポジションニングの獲得は、より実践的なトレーニングの積み重ねが重要であることを強く感じました。またシュートストップと同じく成功体験も大切であると思いました。